

1、令和7年度の取組

学校教育目標「夢をもち 学び合う子」の育成

重点

- 「学びを深める子」(学び)
- 「自他を思いやる子」(自他)
- 「健やかな体と心をつくる子」(健やか)

<合言葉>
「温かいあいさつが響き合う入野小学校」

「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組

- ・未然防止として、全校朝会で命にかかわる話をする。
- ・「ぼかぼかカード」として、友達のよいところを手紙に書いて紹介する。
- ・「はままつマナー」を活用したマナーを守る心情の育成、ふわふわ言葉、ちくちく言葉の想起等
- ・構成的グループエンカウンターを用いた仲間づくり
- ・アンケート調査の活用と情報共有、組織的な対応等

地域(●)、コミュニティ・スクール(★)、PTA(◆)の取組

- あいさつ運動(地域・健全育成会・CS・PTA等)
- 自治会や入野交番と連携した交通安全指導や防犯、通学路改善
- ★学校支援(学習ボランティア、入っ子ひろば等)
- ★夢につながる活動(はごろも夢講座、6年キャリア育成授業等)
- ◆ふれあい活動(親子ドッジボール大会、夏祭り等)
- ◆学習環境整備(母親ボランティア、朝の読み聞かせ等)

2、自己評価

・児童・保護者・教職員による学校評価(令和7年11月実施)

内容	質問事項	達成率(%)		
		児童	保護者	教職員
全体	① 夢(これから〇〇をやってみたい、〇〇な人になりたい など)をもっている。	87%	70%	86%
	② 友達と一緒に勉強したり運動したりして、分かったことやできたことが増えている。	92%	90%	100%
	③ 「おはよう」「ありがとう」「だいじょうぶ？」など、温かい挨拶や言葉を、相手に伝えることができる。	91%	84%	81%
	④ 入野小は、いじめがなく、楽しく安心して生活できる。	82%	74%	91%
学び	⑤ 学習のめあてや自分の目標にむかって、進んで勉強や運動をしている。	89%	68%	76%
	⑥ 学級みんなで考えを出し合ったり、話し合ったりすると、勉強がよく分かる。	94%	77%	90%
	⑦ タブレットを使うと、自分の考えをまとめたり、友達の考えを知ったりするのに役立つ。	87%	55%	57%
	⑧ 「正しく読む」「正しく書く」「自分の考えを発表する」といったことが、どの学習でもできる。	82%	61%	48%
	⑨ 学級の友達と、一緒に考えたり、励まし合ったりするのは、楽しい。	94%	86%	90%
自他	⑩ 自分で自分のことを「頑張っている」や「人の役に立っている」などとほめることができる。	82%	78%	86%
	⑪ 学級や学校がもっとよくなるように、自分の仕事をしたり、友達と活動したりしている。	91%	79%	100%
	⑫ 相手の気持ちを考えながら、友達の話を聞いたり、やさしく話したりしている。	89%	84%	81%
	⑬ 自分と友達の考えがちがうときは、話し合ったり、よりよい方法を考えることができる。	87%	68%	71%
	⑭ 「入野小のくらし」に書いてあるきまりを守って、落ち着いて生活している。	91%	86%	71%
健やか	⑮ 外に出て元気よく遊んだり、運動したりすることが好きだ。	83%	82%	95%
	⑯ 体育の授業では、自分の目標に向かって進んで練習したり、何回も挑戦したりしている。	91%	70%	95%
	⑰ 「手洗い」「うがい」「給食をバランスよく食べる」など、健康に気を付けて生活している。	90%	76%	62%
	⑱ けがをしないように、安全に気を付けて遊んだり、活動したりしている。	92%	86%	76%

【保護者の記述アンケートより】

- ・運動会等の行事やクラブ活動など、簡素化しすぎていると思う。コロナ禍の影響だと思うが、思い出や達成感などを多くの子供たちに経験してほしい。
- ・子供が元気に登校しているので、安心して学校生活を送れているのだと思う。子供たちの安心・安全を守るために、さくら連絡網で知らせてほしい。
- ・教科書や教材等学校に置いているので、登下校の持ち物の負担が減った。ただ、タブレットと他の荷物が重なる日があるため、避けてほしい。
- ・自転車を取り巻く環境が変わり、現行のルールや法律を保護者が把握できているのが不安である。交通安全教室でフォローしてもらえるとうれしい。
- ・ネットリテラシーについての授業があるとありがたい。

【教職員による評価分析】

- ・「分かったことやできたことが増えている」の項目が3者とも90%を超えた。児童が学習に対する満足感を得ている。(No2)
- ・「自分で自分のことをほめることができる」の項目が、児童と保護者の評価が向上した。昨年度より実施した「ぼかぼかカード」と「ほめほめカード」の成果が出たと考えられる。(No10)
- ・「正しく読む・書く」「自分の考えを発表する」の項目について、児童の評価が下がった。基礎基本の定着を図る活動を取り入れる(No8)
- ・「健康に気を付けて生活している」の項目が、3者とも評価が下がった。運動の習慣化とともに、食育についても力を入れていきたい。(No17)

3、学校運営協議会による学校関係者評価(令和8年2月12日)

- ・昨年度の学校運営協議会で熟議した「ぼかぼかカード」と「ほめほめカード」の取組により、自己肯定感が高まっているという成果を聞いて安心した。ただ、「いじめ防止基本方針」についての報告からいじめの件数が増えたことが気になった。
- ・「児童の体力が落ちている」という新聞記事を見た。運動を促進するような取組も考えて、活発な元気な子を目指したい。
- ・SNSに関わるいじめもあると聞いた。保護者対象の情報モラル講座を開くのはどうか。健全育成会の講座を紹介したり、PTAも市P連の資料を発信したりすることで、保護者の意識化を図り、抑止力につながるという。

4、次年度に向けた改善策

- ・「基礎基本の定着」を図るための取組として、朝の活動でモジュールを取り入れ、「読み・書き・計算」を中心に基礎学力を伸ばしていく。(学校評価No8)
- ・「浜松市立入野小学校いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ見逃し0」に向けてアンケートの実施や児童との対話、チームとして学校体制で対応等に取り組む(いじめ対策)
- ・児童が「楽しく安心して生活する」ためにSNS等に向けた「情報モラル」に力を入れて、学校と家庭が同じ歩調で見守る。(学校評価No4)
- ・今年度同様、「ぼかぼかカード」(児童用)と「ほめほめカード」(保護者・地域用)の取組を継続することで、児童の自己肯定感を高めていく。(学校評価No10)
- ・「健康に気を付けて生活する」ために、「運動の習慣化」に向けた取組を進めることで体をよく動かして免疫力をつけたり、食欲を湧かせたりする。(学校評価No17)